



# PRESS RELEASE

2022年10月7日

## 新サービスプラン提案を目的とした、 大学生向けのカーシェア共同実証実験を桐生地区へ拡大

### 【本件のポイント】

- ★「大学生向けのカーシェア共同実証実験」を桐生地域（群馬大学桐生キャンパス）へ2022年10月7日から正式に拡大します。
- ★本共同実証実験は、TOYOTA SHARE を利用し、国立大学法人群馬大学情報学部・社会情報学部と群馬トヨタ自動車株式会社による「大学生向けのカーシェア共同実証実験」として、2019年10月28日から開始しており、大学生向けの新サービスプランや利用促進の提案を目的に行っています。
- ★SDGs（持続可能な開発目標）の目標「11. 住み続けられるまちづくりを」の解決、「クルマ社会」群馬における「まちづくり」の地域貢献、さらに、若者のクルマ離れの解消が目的です。

### 【本件の概要】

TOYOTA SHARE の本格的全国運用展開に合わせて、国立大学法人群馬大学情報学部・社会情報学部と群馬トヨタ自動車株式会社が、群馬大学荒牧キャンパス内にトヨタシェアのサービスステーションを設置し、大学生向けの新サービスプラン提案のために、カーシェア共同実証実験を行っています。本共同実証実験の協力被験者は、群馬大学荒牧キャンパスを利用する本学の学部生と大学院生等でしたが、今回、群馬大学桐生キャンパス駐車場にカーシェア車両を追加で2台設置します。

TOYOTA SHARE は、会員登録から車の開錠施錠、エンジン ON/OFF、返却・清算までスマホだけで利用可能で、安全装備が充実した清潔キレイな車をシェアリングできるのが特徴です。本共同実証実験の現時点での利用状況は、全国上位10位以内であり、多くの学生が利用しています。

引き続き、大学生向けの新サービスプランの提案・開発や利用促進の提案を行うことで、国連の開発目標であるSDGs（持続可能な開発目標）の目標「11. 住み続けられるまちづくりを」の解決、「クルマ社会」群馬における「まちづくり」の地域貢献、さらに、若者のクルマ離れの解消を目指します。